

 **センコーグループホールディングス株式会社**

**2018年（平成30年）3月期**

**決算説明資料**

# 第1部

2018年3月期

決算の概要について

# 1. 2018年3月期 業績の概況

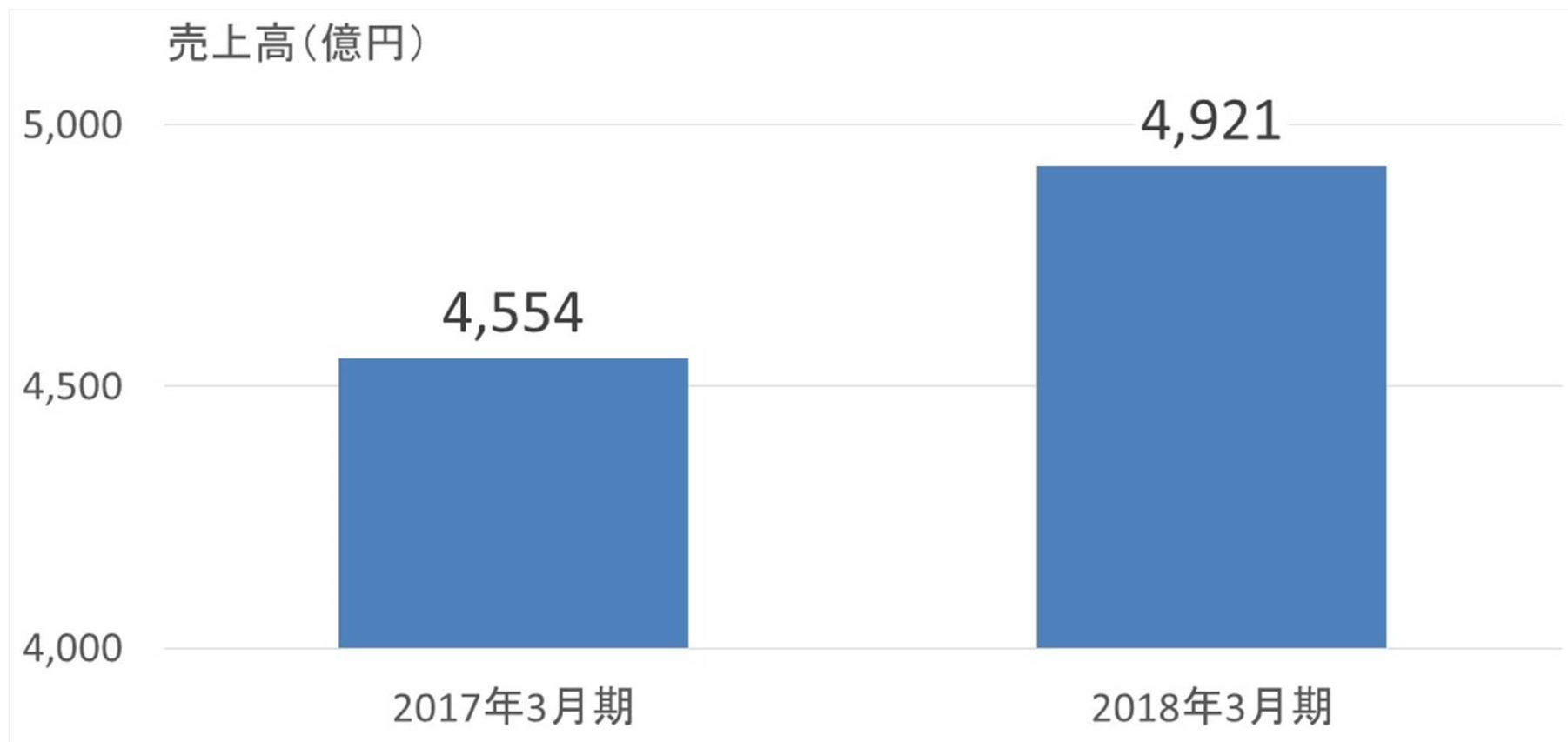
(百万円, %)

	2017年3月期		2018年3月期		前年同期比	
		利益率		利益率	増減額	増減率
売上高	455,435	—	492,127	—	36,692	8.1
営業利益	17,081	3.8	17,087	3.5	5	0.0
経常利益	17,301	3.8	17,316	3.5	15	0.1
親会社株主に 帰属する 当期純利益	8,950	2.0	9,503	1.9	552	6.2

前年同期比

367億円増収

8.1%増



◆拡販や料金改定、M&A(日本マリン、栄吉海運、安全輸送、オクムラ)の効果などで367億円の増収。

### 3. 2018年3月期 分野別売上高の概況

( 億円 , % )

	2017年 3月期	2018年 3月期	前年同期比		増減内訳	
			増減額	増減率	M&A 影響	新規+ 既存ほか
流通ロジスティクス	1,776	1,905	129	7.3	31	98
住宅物流	609	600	△ 9	△ 1.5		△ 9
ケミカル物流	511	678	167	32.6	139	28
その他物流	284	295	11	4.0		11
物流事業	3,180	3,478	298	9.4	170	128
商事・貿易事業	1,329	1,393	64	4.9	8	56
その他事業	46	51	5	10.4		5
合計	4,554	4,921	367	8.1	178	189

※上記に含む国際関係売上

国際関係売上	227	253	26	11.7
売上高構成比 (%)	5.0	5.2		

※非連結法人も含む国際関係売上

国際関係売上	266	303	37	14.0
--------	-----	-----	----	------

#### <流通ロジスティクス>

- ◆量販・小売、食品、アパレル関連の拡販、M&A効果(安全輸送)などで増収。

#### <住宅物流>

- ◆拡販に努めたが、既存物量の減少などで減収。

#### <ケミカル物流>

- ◆拡販やM&A(日本マリン、栄吉海運)効果などで増収。

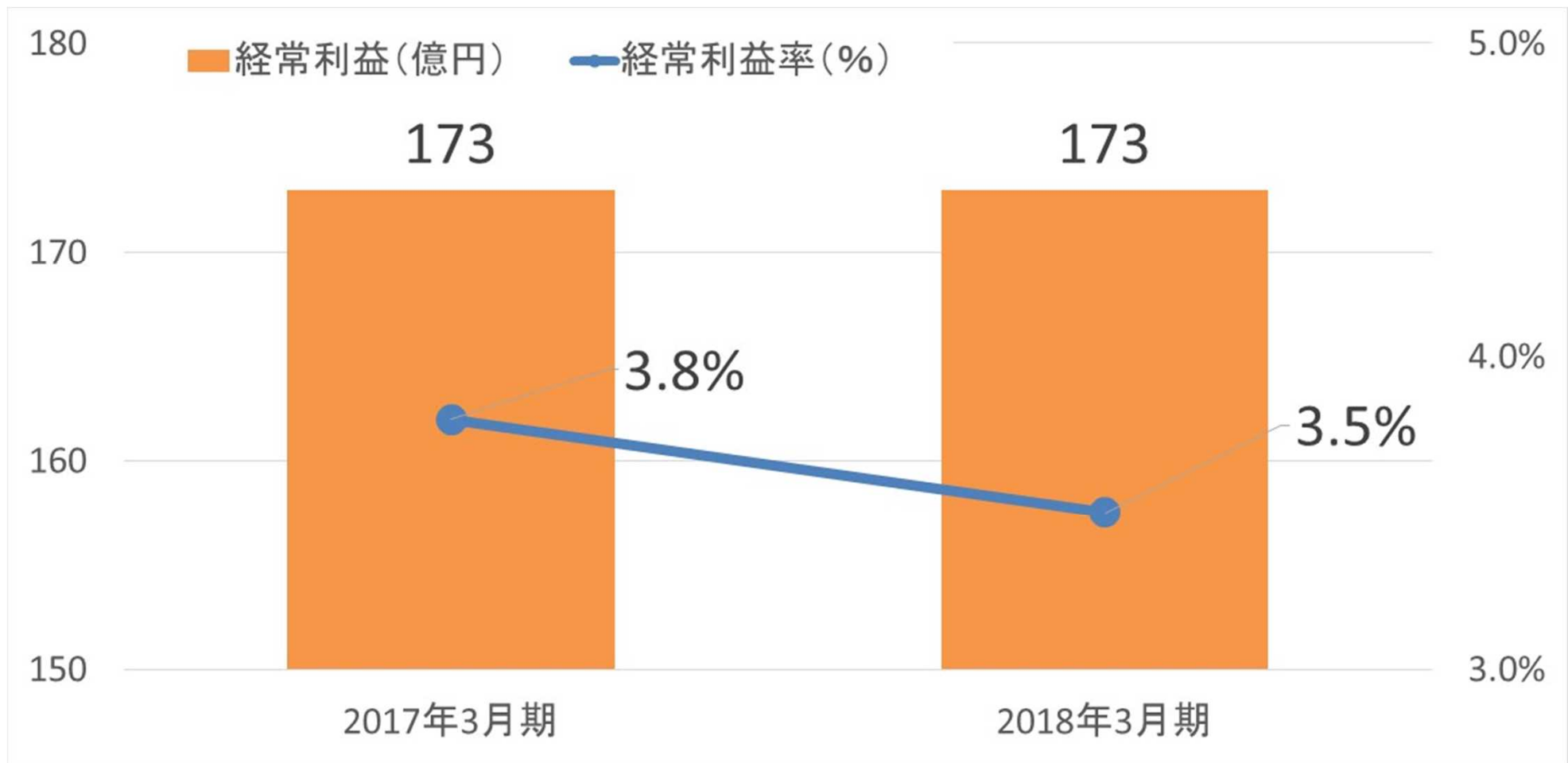
#### <商事・貿易事業>

- ◆拡販やM&A効果(オクムラ)などで増収。

#### <その他事業>

- ◆コールセンター事業、人材派遣業、太陽光の売電事業などで増収。

前年同期比 経常利益 0.2億円増益 0.1%増



既存顧客の物量減少、外注費(傭車費、作業費)や燃料価格の上昇、退職給付債務の数理処理のコストアップなどがあったが、拡販および料金改定や生産性向上、M&A(日本マリンほか)効果による増益で、経常利益は1千5百万円の増益。

## 5. 2018年3月期 セグメント別業績の概況【対前年】 **SENKO**

(百万円, %)

売上高	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比	
			増減額	増減率
物流事業	317,984	347,752	29,768	9.4
商事・貿易事業	132,868	139,317	6,449	4.9
その他事業	4,582	5,058	476	10.4
連結財務諸表計上額	455,435	492,128	36,693	8.1

(百万円, %)

営業利益	2017年3月期		2018年3月期		前年同期比	
		利益率		利益率	増減額	増減率
物流事業	13,419	4.2	13,709	3.9	290	2.2
商事・貿易事業	3,210	2.4	2,855	2.0	△ 354	△ 11.0
その他事業	870	19.0	896	17.7	26	3.0
調整額	△ 417	-	△ 373	-	44	-
連結財務諸表計上額	17,081	3.8	17,087	3.5	5	0.0

(物流事業) 売上高は、M&Aによる増収や、大手ドラッグストアをはじめとする量販・小売関係の拡販などで増収。  
営業利益は、外注費(備車費、作業費)アップ、燃料単価アップ、退職給付債務に関するコストアップの影響はあったが、増収効果などで増益。

(商事・貿易事業) 売上高は、拡販やM&A効果で増収。  
営業利益は、増収効果はあったが、物流費や仕入れコストの増加で減益。

(その他事業) 売上高は、コールセンター事業、人材派遣業、太陽光の売電事業などで増収。

営業利益は、増収効果で増益。

## 6. 2018年3月期 業績の概況【対計画】



(百万円, %)

	2018年3月期		2018年3月期		計画比	
	計画	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上高	<b>500,000</b>	—	<b>492,127</b>	—	<b>△ 7,873</b>	<b>△ 1.6</b>
営業利益	<b>18,000</b>	<b>3.6</b>	<b>17,087</b>	<b>3.5</b>	<b>△ 913</b>	<b>△ 5.1</b>
経常利益	<b>18,300</b>	<b>3.7</b>	<b>17,316</b>	<b>3.5</b>	<b>△ 984</b>	<b>△ 5.4</b>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	<b>9,900</b>	<b>2.0</b>	<b>9,503</b>	<b>1.9</b>	<b>△ 397</b>	<b>△ 4.0</b>

◆売上高は、拡販や既存物量が計画を下回り減収。

◆利益は、減収影響、外注費(備車費、作業費)や燃料単価のコストアップが計画を上回り減益。



# 7. 2018年3月期末 貸借対照表

(億円)

資産の部			負債・純資産の部		
当期	増減	摘要	当期	増減	摘要
<b>流動資産合計</b>			<b>流動負債合計</b>		
1,171.3	84.3		1,060.5	121.3	
現金及び預金	△ 21.7		支払手形及び営業未払金	36.9	
受取手形及び営業未収入金	85.5		電子記録債務	4.2	
たな卸資産	3.3		短期借入金	37.2	
その他	17.1		未払法人税等	5.9	
			その他	37.2	
<b>固定資産合計</b>			<b>固定負債合計</b>		
2,172.3	400.6		1,103.1	323.6	
有形固定資産※		※主な設備投資	社債	101.7	
建物及び構築物	16.3	●加須PDセンター	長期借入金	207.5	
機械装置及び運搬具	114.9	●大阪南港センター	その他	14.4	
土地	29.1	●広島PDセンター			
建設仮勘定	128.1		<b>負債合計</b>	<b>2,163.6</b>	<b>444.9</b>
その他	11.2		<b>純資産合計</b>	<b>1,180.6</b>	<b>39.7</b>
無形固定資産	10.4		資本金	265.3	
投資その他の資産			資本剰余金	297.3	43.2
投資有価証券	61.9		利益剰余金	549.7	63.1
退職給付に係る資産	13.0		自己株式	△ 5.9	0.7
その他	15.7		非支配株主持分他	74.2	△ 67.3
<b>繰延資産合計</b>			<b>負債及び純資産合計</b>	<b>3,344.2</b>	<b>484.6</b>
0.6	△ 0.3				
<b>資産合計</b>	<b>3,344.2</b>				

※自己資本比率  
 (前期末) 35.1%  
 (当期末) 33.7%

※リートへの資産売却による有形固定資産減少額△100億円

<b>有利子負債</b>	<b>1,198.4</b>	<b>346.7</b>	<b>※有利子負債比率</b>
			(前期末) 29.8%
			(当期末) 35.8%

	(億円)	
	前期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	208.5	245.7
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 36.8	△ 370.2
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 86.3	99.4
現金及び現金同等物 の期末残高	262.0	238.0

当期の主な内容

税金等調整前当期純利益	169.4
減価償却費	124.4
売上債権の増加	△ 38.6
仕入債務の増加	22.6
補助金の受取額	18.9
法人税等の支払額 等	△ 52.6

有形固定資産の取得	△ 370.4
有形固定資産の売却	111.2
子会社・関係会社株式の取得 等	△ 72.7

借入金の増加	140.9
リース債務の返済	△ 38.5
社債の発行	100.0
連結範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得	△ 68.8
配当金の支払 等	△ 34.7

## 9. 2018年3月期に稼働した主な物流センター

	名称	所在地	稼働年月	延床面積	事業会社
国内	1 四日市第2PDセンター	三重県 四日市市	2017年 5月	10,800 m <sup>2</sup> (3,300 坪)	センコ(株)
	2 嵐山物流センター ※	埼玉県 嵐山町	2017年 6月	22,300 m <sup>2</sup> (6,700 坪)	埼玉センコロジサービス(株)
	3 座間物流センター ※	神奈川県 座間市	2017年 6月	21,200 m <sup>2</sup> (6,700 坪)	センコ(株)
	4 新小牧PDセンター	愛知県 大口町	2017年 7月	30,400 m <sup>2</sup> (9,200 坪)	センコ(株)
	5 青森物流センター ※	青森県 五所川原市	2017年 9月	4,000 m <sup>2</sup> (1,200 坪)	センコ(株)
	6 新富士PDセンター ※	静岡県 富士市	2017年 10月	21,500 m <sup>2</sup> (6,500 坪)	センコ(株)
	7 広島PDセンター	広島市	2017年 12月	26,600 m <sup>2</sup> (8,000 坪)	センコ(株)
	8 藤井寺センター ※	大阪府 藤井寺市	2018年 1月	11,900 m <sup>2</sup> (3,600 坪)	センコ(株)
	9 京滋・大門危険物倉庫 (2期計画)	滋賀県 守山市	2018年 2月	2,000 m <sup>2</sup> (600 坪)	センコ(株)
	10 広島支店第2センター (冷凍・冷蔵)	広島県 東広島市	2018年 2月	9,900 m <sup>2</sup> (3,000 坪)	(株)ランテック
	11 習志野センター ※	千葉県 習志野市	2018年 3月	40,300 m <sup>2</sup> (12,200 坪)	アクロストラנסポート(株)
国内計				200,900 m <sup>2</sup> (61,000 坪)	
海外	12 NH-SENKO物流センター	韓国 昌原市	2017年 10月	23,400 m <sup>2</sup> (7,100 坪)	NH-SENKO LOGISTICS CO., LTD.
	13 フォーノイ・ロジスティクスセンター	ベトナム フイエン省	2018年 1月	16,600 m <sup>2</sup> (5,000 坪)	SENKO DISTRIBUTIONSERVICE (VIETNAM) CO., LTD.
海外計				40,000 m <sup>2</sup> (12,100 坪)	
総合計				240,900 m <sup>2</sup> (73,100 坪)	

※賃借物件

2017年度に稼働した物流センターは、国内11拠点・海外2拠点 合計24万m<sup>2</sup>。

2018年3月末の総保管面積は、342万m<sup>2</sup>。

## 第2部

2019年3月期

通期見通し(計画)について

# 1. 2019年3月期 業績の見通し(計画)

(百万円, %)

	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率
売上高	<b>492,127</b>	—	<b>530,000</b>	—	<b>37,873</b>	<b>7.7</b>
営業利益	<b>17,087</b>	<b>3.5</b>	<b>19,300</b>	<b>3.6</b>	<b>2,213</b>	<b>12.9</b>
経常利益	<b>17,316</b>	<b>3.5</b>	<b>19,300</b>	<b>3.6</b>	<b>1,984</b>	<b>11.5</b>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	<b>9,503</b>	<b>1.9</b>	<b>11,500</b>	<b>2.2</b>	<b>1,997</b>	<b>21.0</b>

## 2. 2019年3月期 業績の見通し(計画)【上期：下期：通期】*SENKO*

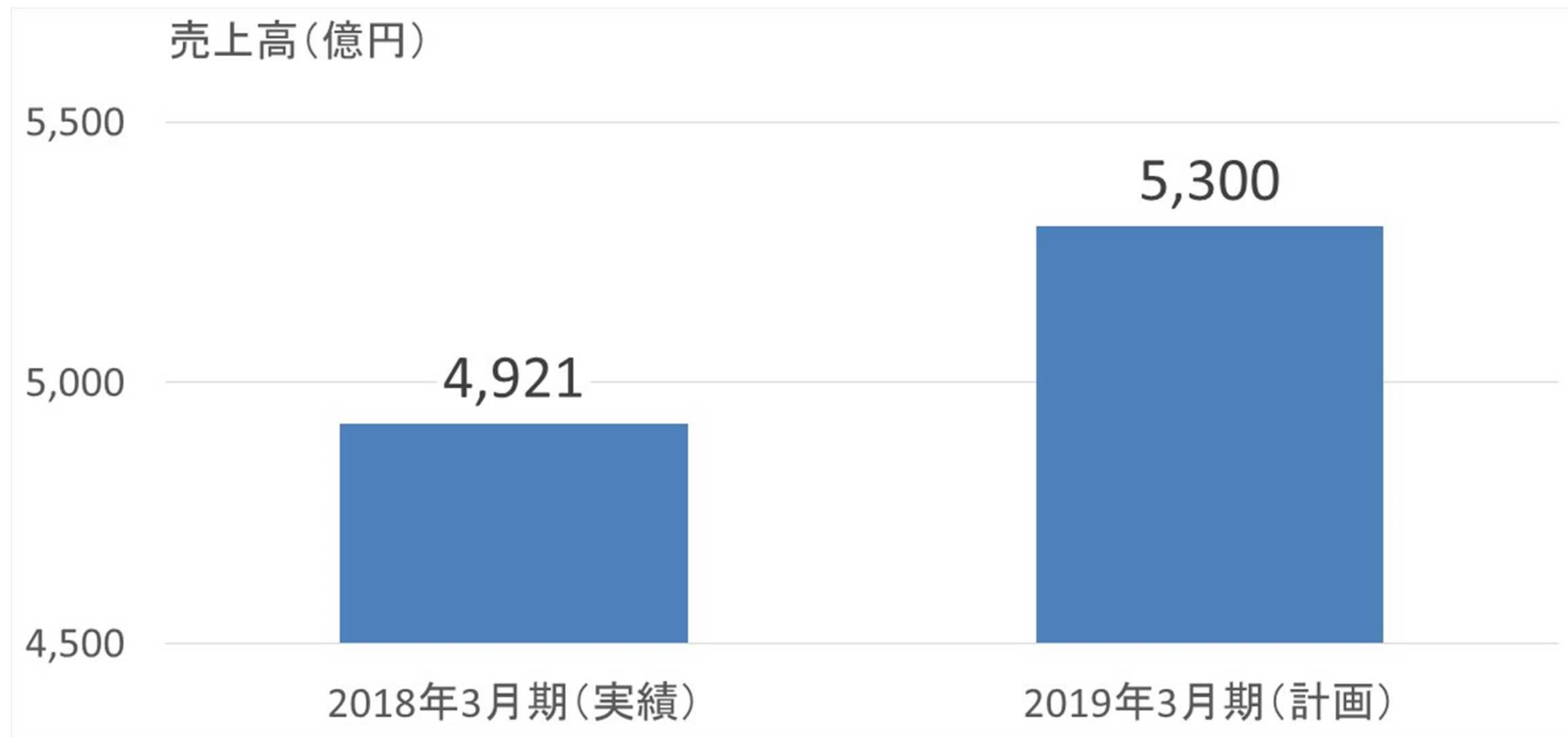
(百万円, %)

	2019年3月期					
	上期		下期		通期	
	計画	利益率	計画	利益率	計画	利益率
売上高	<b>260,000</b>	—	<b>270,000</b>	—	<b>530,000</b>	—
営業利益	<b>9,000</b>	<b>3.5</b>	<b>10,300</b>	<b>3.8</b>	<b>19,300</b>	<b>3.6</b>
経常利益	<b>9,000</b>	<b>3.5</b>	<b>10,300</b>	<b>3.8</b>	<b>19,300</b>	<b>3.6</b>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	<b>5,400</b>	<b>2.1</b>	<b>6,100</b>	<b>2.3</b>	<b>11,500</b>	<b>2.2</b>

前年同期比

379億円増収

7.7%増



拡販や料金改定、M&A(安全輸送とオクムラ)期間差や新規連結効果(※ライフサポート3社)で379億円の増収を計画。

※ライフサポート3社(けいはんなヘルパーステーション、ブルーアースジャパン、ビーナス)

## 4. 2019年3月期 分野別売上高の見通し(計画)

( 億円, % )

	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 計画	前年同期比		増減内訳	
			増減額	増減率	M&A 影響	新規+ 既存ほか
流通ロジスティクス	1,905	2,080	175	9.2	31	144
住宅物流	600	626	26	4.3		26
ケミカル物流	678	731	53	7.8		53
その他物流	295	299	4	1.7		4
物流事業	3,478	3,736	259	7.4	31	228
商事・貿易事業	1,393	1,459	66	4.7	9	57
その他事業	51	105	54	107.8	52	2
合計	4,921	5,300	379	7.7	92	287

※上記に含む国際関係売上

国際関係売上	253	290	37	14.5
売上高構成比 (%)	5.2	5.5		

※非連結法人も含む国際関係売上

国際関係売上	303	349	46	15.1
--------	-----	-----	----	------

### <流通ロジスティクス>

- ◆量販・小売り、食品、アパレル関連の拡販や料金改定、M&A期間差(安全輸送)などで増収を計画。

### <住宅物流>

- ◆拡販や料金改定などで増収を計画。

### <ケミカル物流>

- ◆拡販や料金改定などで増収を計画。

### <商事・貿易事業>

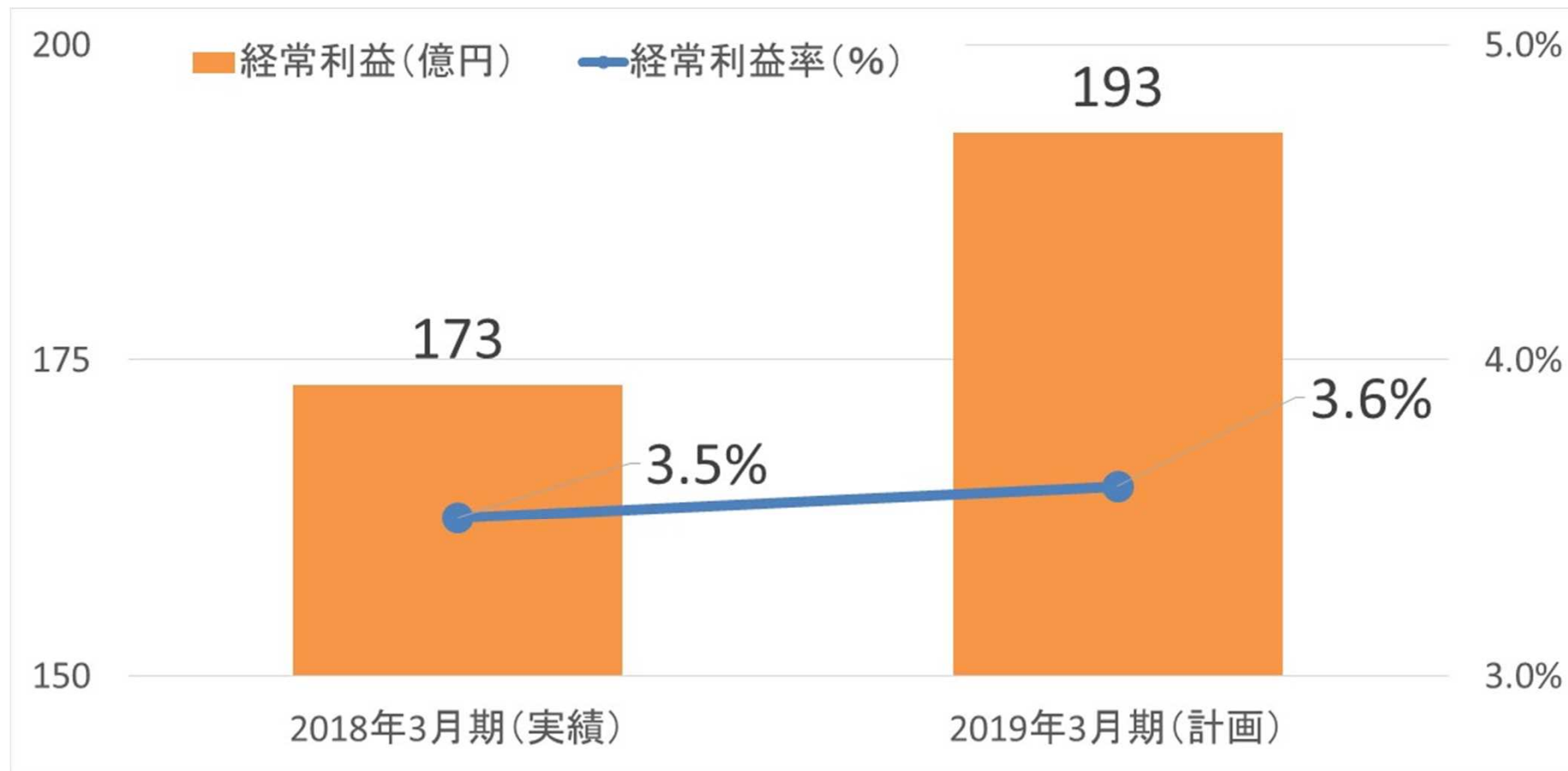
- ◆拡販やM&A期間差(オクムラ)などで増収を計画。

### <その他事業>

- ◆新規連結(ライフサポート3社)などで増収を計画。



前年同期比 経常利益 **19.8億円増益** **11.5%増**



拡販、料金改定、M&A(安全輸送とオクムラ)期間差、新規連結の増収効果や退職給付債務の数理処理額の減少などで、外注費(傭車費、作業費)や燃料価格のコストアップはあるが、経常利益は193億円を計画。

## 6. 2019年3月期 セグメント別業績の見通し(計画)



(百万円, %)

売上高	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	前年同期比	
			増減額	増減率
物流事業	347,752	373,606	25,854	7.4
商事・貿易事業	139,317	145,881	6,564	4.7
その他事業	5,058	10,512	5,454	107.8
合計	492,127	530,000	37,873	7.7

(百万円, %)

営業利益	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率
物流事業	13,709	3.9	15,310	4.1	1,601	11.7
商事・貿易事業	2,855	2.0	2,930	2.0	75	2.6
その他事業	896	17.7	1,430	13.6	534	59.6
調整額	△ 373	-	△ 370	-	-	-
連結財務諸表計上額	17,087	3.5	19,300	3.6	2,213	13.0

- (物流事業) 売上高は、拡販や料金改定、M&A期間差(安全輸送)で増収を計画。  
営業利益は、増収効果、退職給付債務の数理処理額の減少で増益を計画。
- (商事・貿易事業) 売上高は、拡販やM&A期間差(オクムラ)で増収を計画。  
営業利益は、増収効果で増益を計画。
- (その他事業) 売上高は、新規連結(ライフサポート3社)で増収を計画。  
営業利益は、増収効果で増益を計画。

## 7. 2019年3月期に稼働予定の主な物流センター

	名称	所在地	稼働年月	延床面積	事業会社
国内	1 大阪支店南港センター（冷凍・冷蔵）	大阪市	2018年 4月	20,400 m <sup>2</sup> ( 6,200 坪)	(株)ランテック
	2 東富士PDセンター	静岡県 富士市	2018年 4月	16,400 m <sup>2</sup> ( 5,000 坪)	センコー(株)
	3 福岡支店センター増床（冷凍・冷蔵）	福岡県 久山町	2018年 4月	12,000 m <sup>2</sup> ( 3,600 坪)	(株)ランテック
	4 流山ロジスティクスセンター ※	千葉県 流山市	2018年 5月	29,800 m <sup>2</sup> ( 9,000 坪)	センコー(株)
	5 古河PDセンター ※	茨城県 古河市	2018年 8月	29,200 m <sup>2</sup> ( 8,800 坪)	センコー(株)
	6 加須PDセンター（2期計画） ：3温度帯（常温・冷凍・冷蔵）	埼玉県 加須市	2018年 8月	52,000 m <sup>2</sup> ( 15,800 坪)	センコー(株)、(株)ランテック
	7 湖東倉庫（仮称）	滋賀県 東近江市	2018年 10月	3,000 m <sup>2</sup> ( 910 坪)	センコー(株)
国内計				162,800 m <sup>2</sup> ( 49,310 坪)	
海外	8 青浦物流センター ※	中国 上海市	2018年 5月	18,900 m <sup>2</sup> ( 5,700 坪)	上海扇拡国際 貨運有限公司
	9 北京物流センター（冷凍・冷蔵）※	中国 北京市	2018年 9月	9,600 m <sup>2</sup> ( 2,900 坪)	中外運扇拡国際冷鏈 物流（上海）有限公司
海外計				28,500 m <sup>2</sup> ( 8,600 坪)	
合計				191,300 m <sup>2</sup> ( 57,910 坪)	

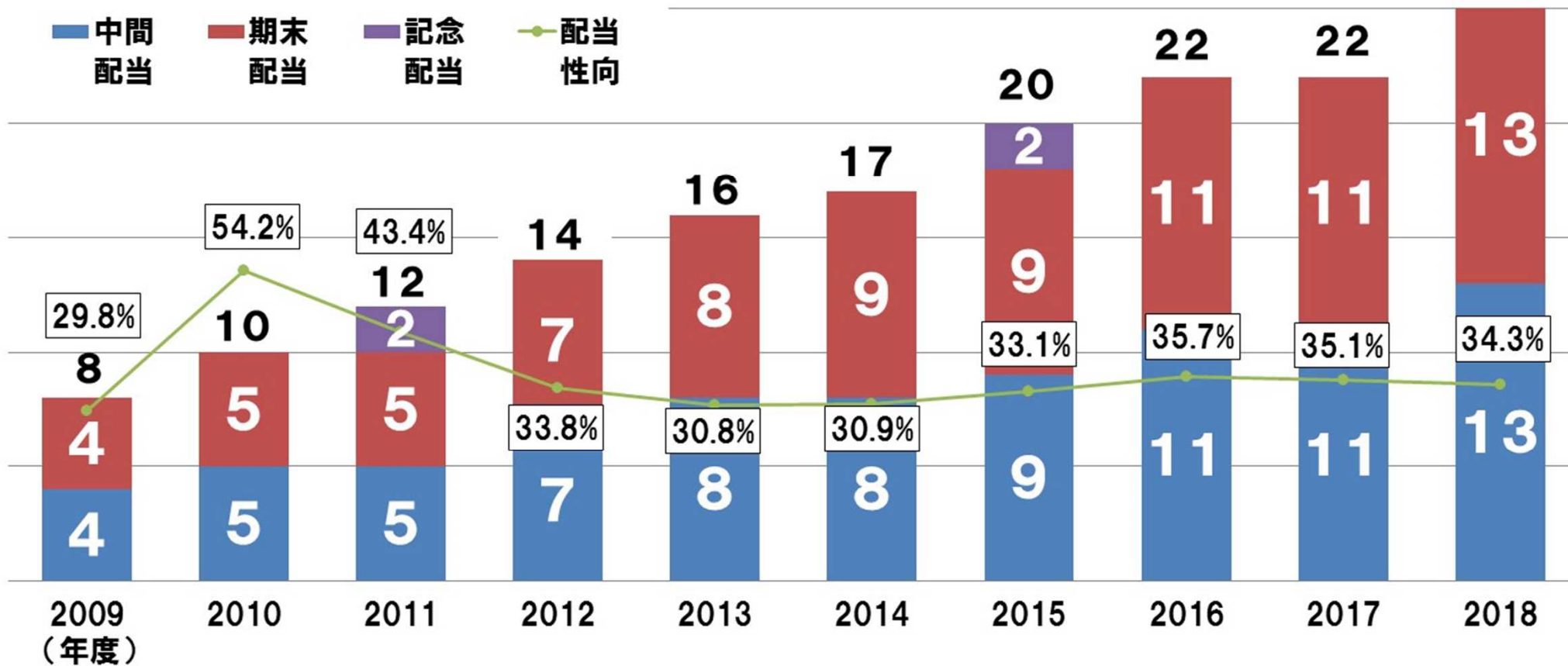
※賃借物件

2018年度に稼働予定の物流センターは、国内7カ所、海外2カ所で約19万m<sup>2</sup>を計画。

2019年3月末の総保管面積は、363万m<sup>2</sup>の見込み。

# 8. 配当金について

1株あたり配当金(円/株)と配当性向の推移



## 第3部

2019年(平成31年)3月期  
主な取り組みについて

## 事業領域の拡大

- ・グループの主要事業の成長拡大
- ・商品の開発力・価格競争力を強化
- ・新たな事業の芽の発掘

## 生産体制の強化

- ・先端技術の研究・導入
- ・働きやすい職場づくり
- ・人材の採用・確保と育成

## 収益力の強化

- ・料金改定や取引条件の見直し
- ・先端技術の導入による生産性向上
- ・管理業務の自動化や集中化

## ブランド価値の向上

- ・広報・PR活動の強化と多様化
- ・グループ理念浸透とコミュニケーションの充実
- ・ターゲットごとのIR活動の推進



# 1. 事業領域の拡大

## 《3 温度帯物流センターの拡大》

### ① (株)ランテック

### 2018年冷凍冷蔵物流センター3拠点稼働

広島支店第2センター	大阪支店南港センター	福岡支店センター増床
		
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 広島県東広島市</li><li>・ 延床面積 9,900㎡</li><li>・ 2018年2月稼働</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大阪市</li><li>・ 延床面積 20,400㎡</li><li>・ 2018年4月稼働</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 福岡市</li><li>・ 増床面積 12,000㎡</li><li>・ 2018年4月稼働</li></ul>

## 《3温度帯物流センターの拡大》

### ② (株)ランテック

2018年8月 加須P Dセンター（2期計画）開設予定

◎センコーとランテックが共同運営する初の3温度帯物流センター

住 所 埼玉県加須市

敷地面積 45,700 m<sup>2</sup>

延床面積 52,000 m<sup>2</sup>

内訳

常温	25,100 m <sup>2</sup>
冷凍冷蔵	26,900 m <sup>2</sup>





## 《ファッション物流の拡大》

### ① お客様の物流拠点再編に伴う物流センター業務の受託

#### 習志野センター

※運営: アクロストランスポート

#### ◎ O社物流センター業務の受託



- ・ 千葉県習志野市
- ・ 延床面積 40,300㎡ (賃借)
- ・ 2018年3月稼働

#### 流山ロジスティクスセンター

※運営: センコー

#### ◎ U社物流センター業務の受託



- ・ 千葉県流山市
- ・ 延床面積 29,800㎡ (賃借)
- ・ 2018年5月稼働

# 1. 事業領域の拡大

## 《その他の物流センター》

### ◎2018年度に開設する物流センター

稼働日	名称	所在地	延床面積	備考
2018年4月 開設	東富士PDセンター 	静岡県 富士市	16,400m <sup>2</sup>	W社ドラッグストア 向け物流センター
2018年8月 開設予定	古河PDセンター	茨城県 古河市	29,200m <sup>2</sup>	医薬・医療・衛生品、 食品、日用品などの 流通ロジ関連
2018年10月 開設予定	湖東倉庫（仮称）	滋賀県 東近江市	3,000m <sup>2</sup>	保税蔵置所として 住宅用建設部材の輸入品 に対応

## 《海外事業の拡大》

### ① 物流センターの開設

フォーノイ・ロジスティクスセンター



- ・ベトナム フンイエン省
- ・延床面積 16,600m<sup>2</sup>
- ・2018年4月稼働
- ・日系企業の工場生産品の保管・輸配送業務

青浦物流センター



- ・中国 上海市
- ・延床面積 18,900m<sup>2</sup>
- ・2018年5月稼働
- ・医療用機器、車用内装シート、感光材関係

北京物流センター



- ・中国 北京市
- ・延床面積 9,600m<sup>2</sup>
- ・2018年9月稼働予定
- ・3温度帯倉庫

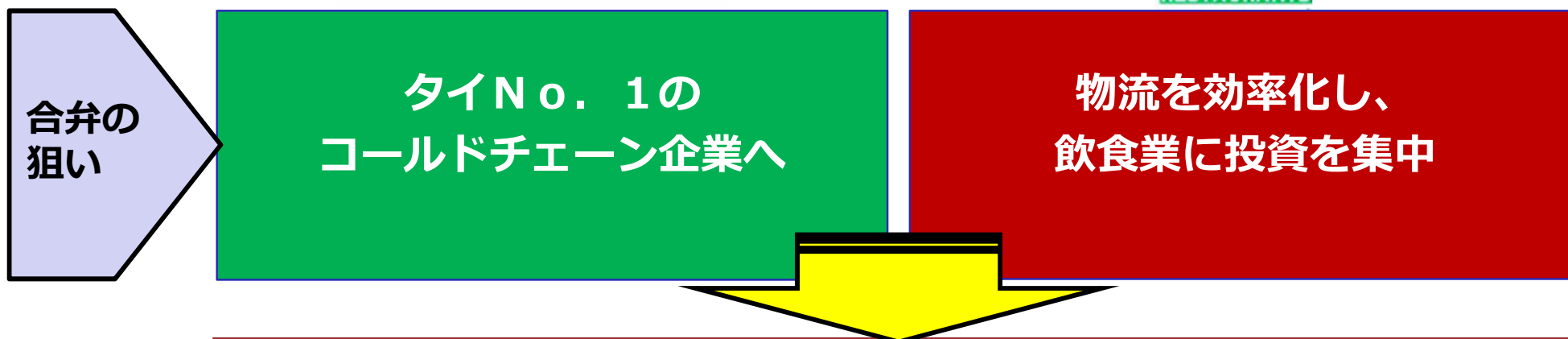
## 《海外事業の拡大》

### ② タイで冷凍・冷蔵物流事業を拡大

#### ◎大手外食チェーンのMKレストランと合併会社を設立

センコーグループ

**MK**  
RESTAURANTS



■ 2018年3月 合併会社設立

社名：M-SENKO LOGISTICS CO.,LTD

■ バンコク近郊に新物流センター建設（倉庫面積:22千㎡）

※2019年の稼働予定

## 《海外事業の拡大》

### ③ 大手ディスカウントストアの D社シンガポール出店に伴う物流業務受託

◎ 日本からシンガポールへの輸出業務と現地の保管・配送業務を受託。

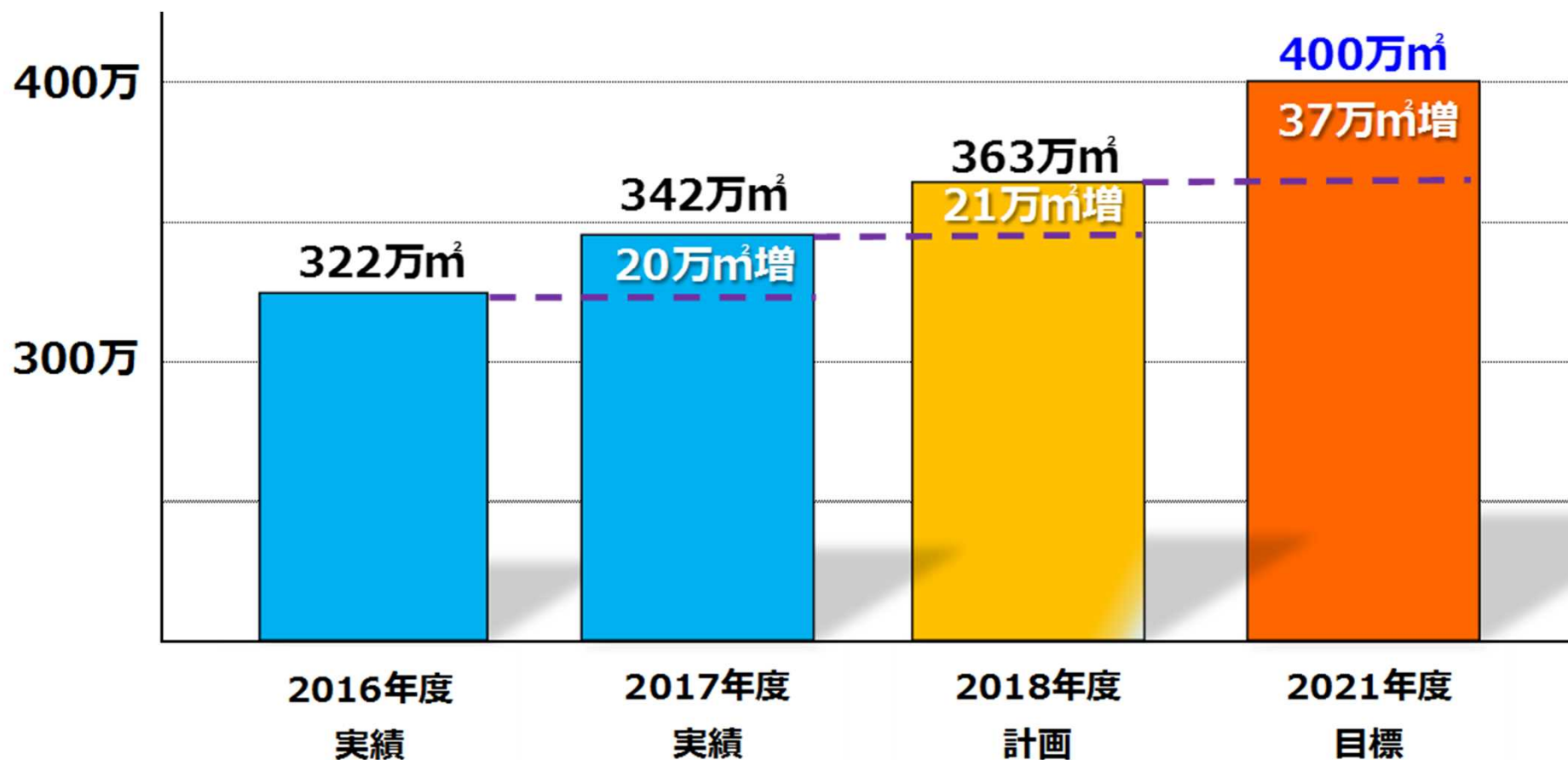
- ・ 現地物流は、グループ会社の「**Skylift社**」が、商品の入庫・保管・在庫管理・ピッキング作業・仕分け・配送などの物流業務を実施。
- ・ 2017年12月業務開始





### 1) 物流センターの保管面積 400万㎡体制に向けて

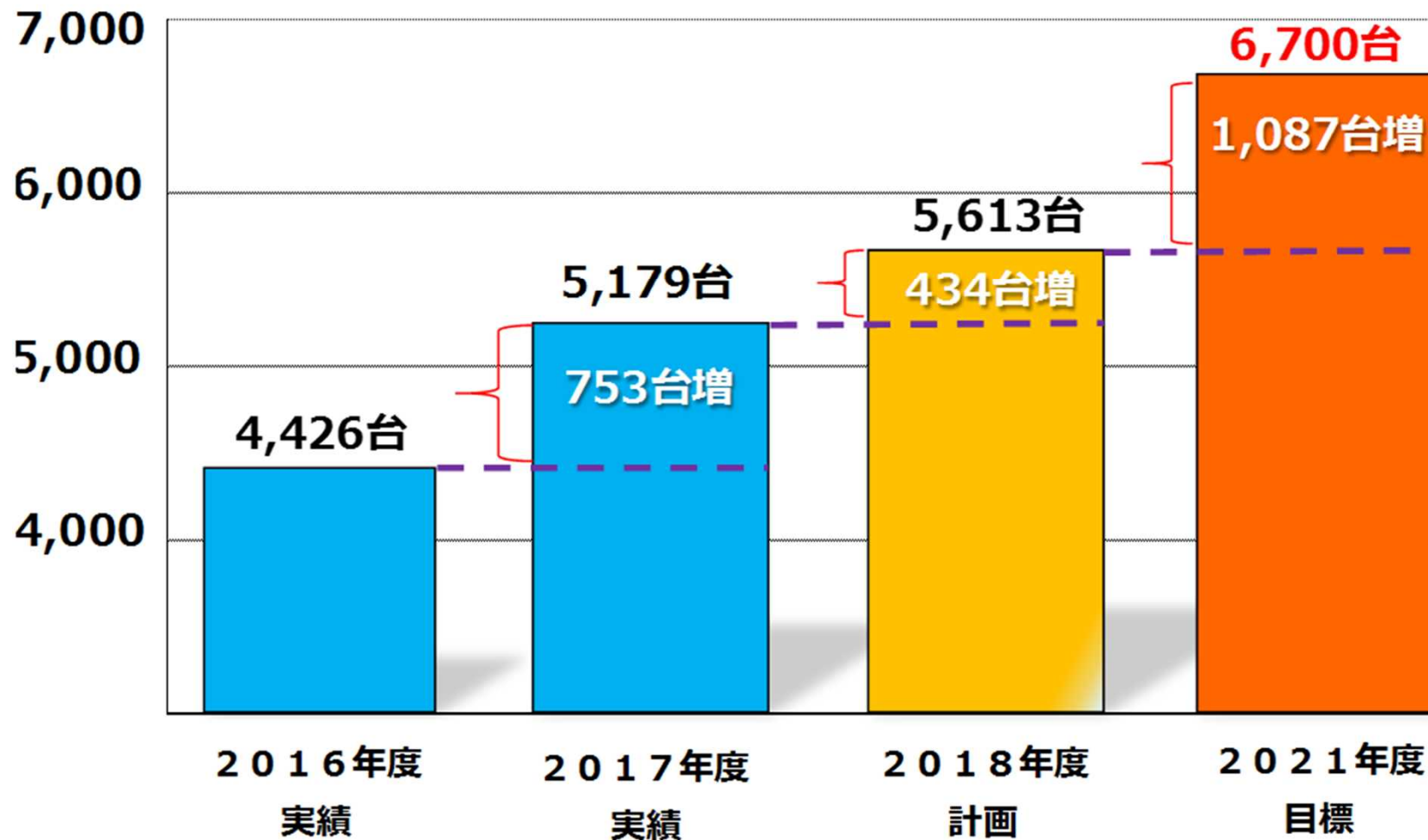
#### ◎グループ倉庫面積の状況



### 2) グループ直営車両 6,700台体制に向けて

#### ◎グループ直営車両台数の状況




(台)



※2017年度の753台増については、2017年10月にグループ化した安全輸送(株)の372台を含む。

## 2. 生産体制の強化

### 3) 省人化・機械化につながる最新技術の導入

無人搬送車	無人フォークリフト	アームロボット
		
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 最大500kg迄牽引しながら60m/分で搬送可能。</li><li>・ 目的地到着後、台車を自動で切り離し元に戻る</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ パレットの「すくい」や「下ろし」「移動搬送」を自動化</li><li>・ 60m/分で走行</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 飲料や酒類など大量に流通される貨物の積み替え作業の負担を軽減。</li><li>・ 一度に3ケースの積み替えが可能。</li></ul>

- ・ 上記設備は、一部事業所で導入済み、他事業所にも水平展開する予定。
- ・ 2018年4月に、『AI化プロジェクト』と『ロボティクスプロジェクト』を設置、省人化・機械化を加速させる。



### 4) 外国人就労の拡大

#### ◎ 外国人が活躍する企業グループの形成

- ▷ ・労働力不足に対応するため、工業包装や自動車整備などの技能実習生、在留資格を持つ外国人の雇用を推進。  
→ 2018年度は、技能実習生75名を受入予定。

#### ◎ 外国人材のキャリア形成支援

- ▷ ・ASEANなどの大学や専門学校とタイアップし、現地に当社での実習を前提とした物流クラスを設置するなど、キャリア育成を支援。

### 5) モーダルシフトの推進

#### ① センコー汽船(株)の設立および海運事業を強化

- ・2018年4月1日、センコーの海運事業を承継するセンコー汽船(株)を設立。
- ・海運事業グループのセンコー汽船(株)、日本マリン(株)、栄吉海運(株)と連携し、RORO船やフェリーを利用したモーダルシフトを強化。



日本マリン



センコー汽船



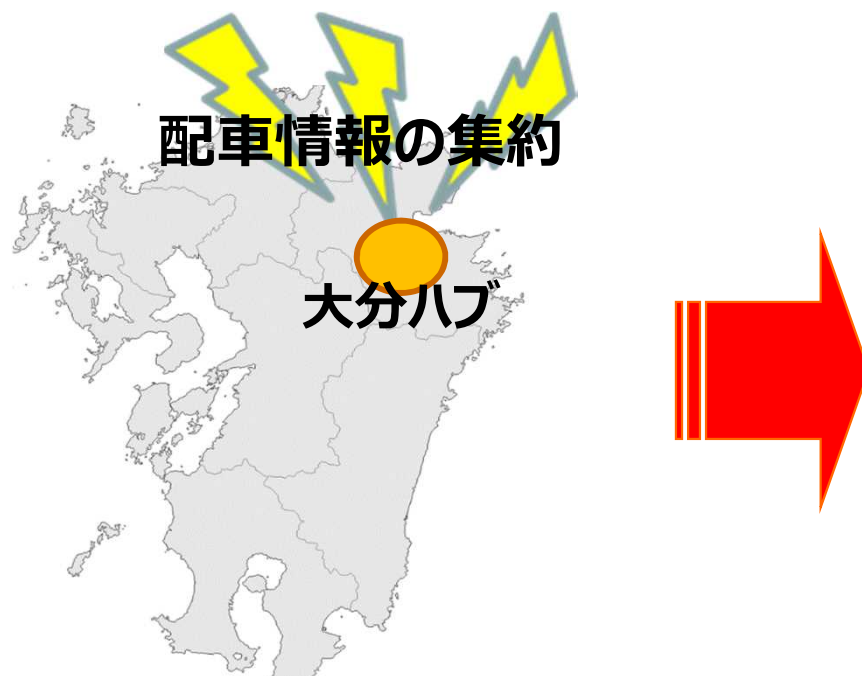
栄吉海運

### 6) モーダルシフトの推進

#### ② 九州地区 配車業務の集中化

《2018年4月スタート》

大分ハブで配車情報を集中・一元化し、  
九州⇄本州間の発着物量を一括コントロール。  
今後、他地区に展開予定。



#### 【輸送モードの選択】

##### ■ フェリー・RORO船



##### ■ 鉄道コンテナ



## ① 料金改定・取引条件の改定

- 不採算業務や料金化されていない業務は、条件の見直しや料金改定を実施。

## ② 生産性向上の強化

- 省人化・機械化やAIなどの導入で、1人当たりの生産性向上を図る。

## ③ 配車業務の自動化

- 配車業務を自動化し、トラックの運行効率の向上を図る。

## ④ 管理業務の集中化

- グループ各社の管理業務を集中化し、効率化を図る。

# Moving Global

物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。

お問い合わせ先

 センコーグループホールディングス株式会社

**広報室**

〒531-6115

大阪市北区大淀中1-1-30-1500

(梅田スカイビル タワーウエスト15F)

TEL: 06-6440-5156

FAX: 06-6440-5148

URL: <http://www.senkogrouphd.co.jp/>